

平成31年度 重点目標

1. 仲間を広げる加入促進運動の推進と魅力あるクラブづくり

平成26年度から30年度まで5年間実施してきた「2万5千人会員増強運動」に引き続き、役員及び会員一丸となって「単位クラブ年間1名純増運動」を推進するとともに、魅力あるクラブづくりに努める。

(1) 県老連

- ・「会員加入促進委員会」を中心とし若手委員会とも連携して推進方策検討
- ・「単位クラブ年間1名純増運動」の推進
- ・若手委員会からの提言に基づき、魅力あるクラブづくりと女性会員の重要ポストへの積極的登用を推進する。
- ・会長研修、各種リーダー研修の充実

(2) 市町村老連・単位クラブ

- ・「単位クラブ年間1名純増運動」の推進
- ・若手高齢者の組織化とリーダーの育成
- ・解散（休会、休眠）クラブの防止と支援
- ・地域性に応じた地道な勧誘活動の展開と魅力あるクラブづくりに努める

(3) 市町村老連の充実と行政をはじめ町内会等地域関連団体との連携強化

2. 会員の生活を豊かにする取り組み

市町村の行う新地域支援事業への積極的な参加と健康づくり・介護予防活動に体系的・継続的に取り組み、地域高齢者の健康寿命延伸を図る

(1) 健康づくり支援事業

- ・健康づくり・介護予防事業の実施（地域の元気づくり事業）
- ・地区スポーツ大会の開催
- ・老人福祉大学の開催
- ・地域関連団体との連携（行政、地域包括支援センター、自治会町内会など）

3. 地域を豊かにする社会活動

- ・仲間を支える友愛活動（地域の元気づくり事業）
- ・次世代育成支援事業（地域の元気づくり事業）
- ・高齢消費者被害対策
- ・高齢者の交通安全対策
- ・平成30年7月豪雨災害復興支援事業